

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2005年5月3日

2005年5月1日概況：

5月1日に終わる週の気象は低温・乾燥であった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.0日（前週：6.3日）であった。低温であったが、殆ど降雨が無かったことより、全州にて春の農作業が開始された。平均気温はNW地区で平年を7度F下回った。他の地区では平年を8～11度F下回った。降雨はNE地区で多少有ったが、各地殆ど降雨は無かった。Topsoilの水分が前週より多少落ちた。

春小麦の播種は順調なペースで進んだ。HRSは53%の圃場にて播種され、Durum小麦は33%が播種された。HRSの播種は昨年と並んだ。HRS並びにDurum共に5年平均より早い進捗であった。出芽は気温が低かった為、多少遅れ気味であった。

小麦生育状況：2005年5月1日現在

	This week	Last week	Last year	5-Year Ave.
Durum Wheat				
Planted (%)	33	15	29	14
Emerged (%)	6	2	7	3
HRS Wheat				
Planted (%)	53	29	53	34
Emerged (%)	12	3	19	10

土壌水分：2005年5月1日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Average
Topsoil				
Very Short (%)	9	7	11	5
Short (%)	28	26	30	17
Adequate (%)	61	64	56	68
Surplus (%)	2	3	3	10
Subsoil				
Very short (%)	12	13	11	7
Short (%)	24	23	31	21
Adequate (%)	61	60	56	64
Surplus (%)	3	4	2	8

2005年3月31日の農務省の予想では、ノースダコタ州の2005年産HRSの作付面積予想は、6,900,000エーカーであり、昨年(6,200,000エーカー)の11%増であった。Durumの作付予想は1,850,000エーカー(昨年：1,750,000エーカー)であった。

全米の春小麦の作付けは、昨年比で増加傾向である。

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃: E-mail ogawa.max@omicnet.com